



HOWA values today and leaps toward the future.

# 決算説明会

## 2026年3月期 決算説明会

---

2026年5月26日

**豊和工業株式会社**

(証券コード：6203 東証スタンダード・名証プレミア)

## 2026年3月期 実績

👉 火器は増収増益も工作機械関連の赤字拡大により減益

### ✓ 火器は20式小銃や補用部品など防衛装備品の出荷が増加

防衛省向け20式5.56mm小銃や補用部品などの防衛装備品の出荷数が大幅増加。また、特定取組契約による売上計上もあり大幅な増収増益

### ✓ 工作機械関連は売上減少、採算性悪化に加え、棚卸資産評価損などの費用計上により赤字拡大

工作機械、空油圧機器の売上減少、採算性悪化に加え、中国向け在庫の棚卸資産評価損などの費用計上により赤字拡大

## 2027年3月期 予想

👉 工作機械関連の構造改革および各事業の収益力向上

### ✓ 工作機械関連の構造改革推進および各事業の収益力向上を目指す

工作機械関連における構造改革を着実に推進することに加え、各事業の収益力の向上により、増益を目指す

### ✓ 火器は減収減益の見込み

20式小銃の納入数は増加するものの、特定取組契約による売上計上がなくなり減少見込み

## 中期経営計画

👉 構造改革に伴い、中国現地法人の解散および清算に着手

### ✓ 中国現地法人の解散および清算に着手

中国現地法人の豊和（天津）机床有限公司の解散および清算を決議。不採算事業の見直しにより収益力の向上を目指す

I	2026年3月期 連結決算概要	● ● ● ● ● ●	3
II	2027年3月期 連結業績予想	● ● ● ● ● ●	7
III	中期経営計画への取組状況	● ● ● ● ● ●	13
IV	添付資料	● ● ● ● ● ●	19
	①経営理念、トピックス		
	②財務データ		

# I 2026年3月期 連結決算概要

---

# 2026年3月期 実績



(百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		増減		参考 2026年3月期予想値	
		構成比		構成比		増減率	2025/5/15	2025/11/14
売上高	24,827	100.0	24,064	100.0	△763	△3.1%	24,900	23,200
売上総利益	4,203	16.9	4,228	17.6	+24	+0.6%	-	-
営業利益	1,253	5.0	1,186	4.9	△66	△5.3%	1,310	670
経常利益	1,413	5.7	1,382	5.7	△31	△2.2%	1,420	800
当期純利益	749	3.0	741	3.1	△8	△1.1%	930	240
ROE	4.2%		3.7%		△0.5P			
ROIC	3.5%		3.0%		△0.5P			

【売上・営業利益】 火器の防衛装備品の出荷増と特定取組契約により売上計上で大幅な増収増益も、工作機械関連の売上減少及び採算性悪化、棚卸資産評価損などの費用計上により前年比減益

【経常利益】 株式配当により営業外収益が増加も、営業利益の減益により減益

【当期純利益】 有価証券売却益の計上も、経常利益の減益に加え、中国現地法人の清算費用などを特別損失に計上し減益

【ROE・ROIC】 営業利益や当期純利益の減少によりROE・ROICともに減少

# 2026年3月期 セグメント別損益実績



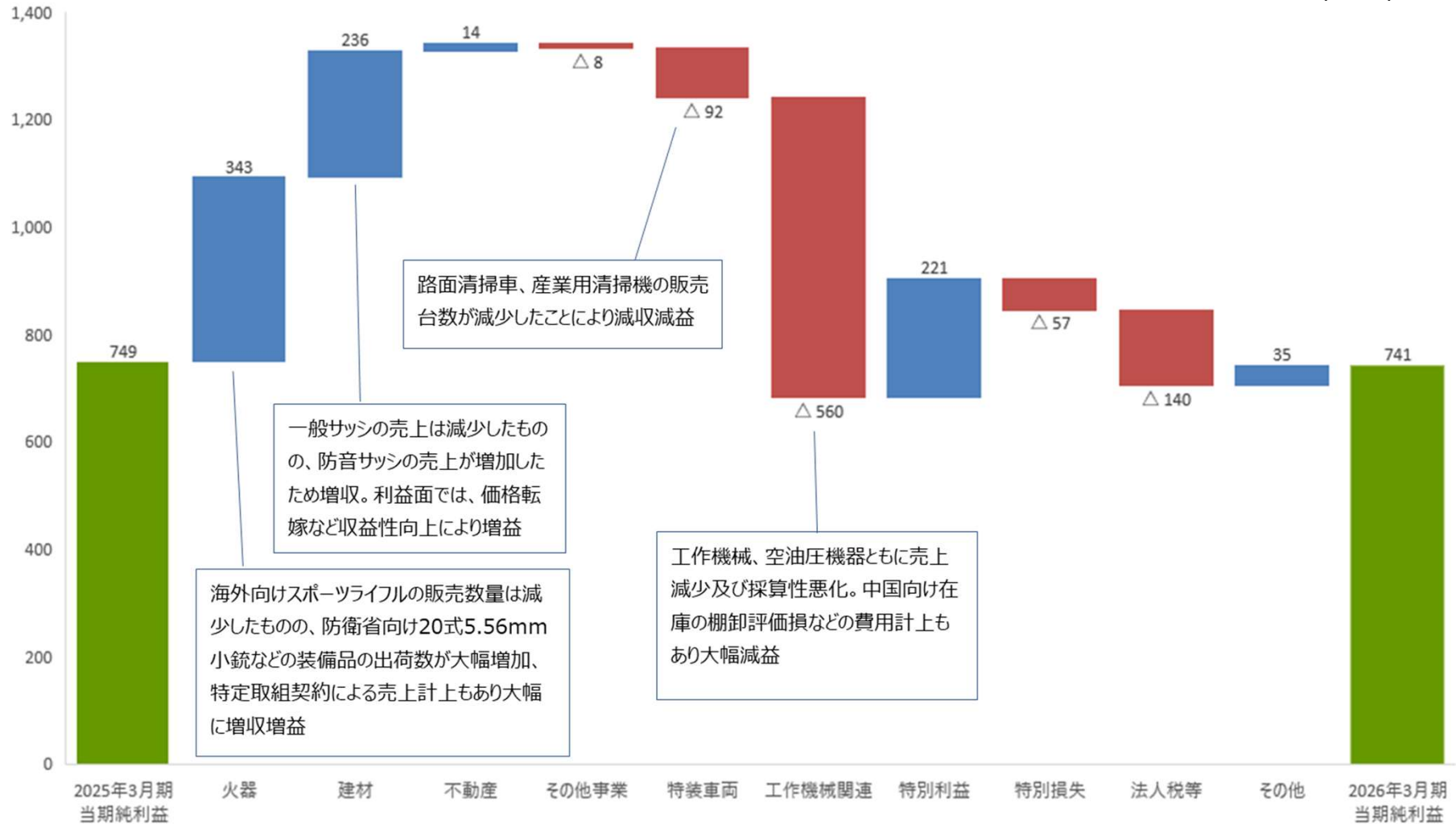
(百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	増減率	営業利益	増減率
火 器	7,903	911	8,965	1,255	+1,061	+13.4%	+343	+37.8%
特 装 車 両	3,328	129	2,922	37	△406	△12.2%	△92	△71.3%
建 材	3,014	39	3,232	276	217	+7.2%	236	+607.7%
工作機械関連	6,962	△457	5,421	△1,017	△1,541	△22.1%	△560	(赤字拡大)
不 動 産	494	396	508	411	+14	+2.8%	14	+3.8%
そ の 他	3,124	232	3,014	223	△110	△3.5%	△8	△3.9%
合 計	24,827	1,253	24,064	1,186	△763	△3.1%	△66	△5.3%
火 器	海外向けスポーツライフルの販売数量は減少したものの、防衛省向け20式5.56mm小銃などの装備品の出荷数が大幅増加、特定取組契約による売上計上もあり大幅に増収増益							
特 装 車 両	路面清掃車、産業用清掃機の販売台数が減少したことにより減収減益							
建 材	一般サッシの売上は減少したものの、防音サッシの売上が増加したため増収。利益面では、価格転嫁など収益性向上により増益							
工作機械関連	工作機械、空油圧機器ともに売上減少及び採算性悪化。中国向け在庫の棚卸評価損などの費用計上もあり赤字拡大							
そ の 他	国内販売会社は減収減益。国内運送会社は減収も増益							

# 2026年3月期 利益変動要因



(百万円)



# Ⅱ 2027年3月期 連結業績予想

---

# 2027年3月期 業績予想



(百万円)

	2026年3月期		2027年3月期		増減	
		構成比		構成比		増減率
売上高	24,064	100.0	23,560	100.0	△504	△2.1%
売上総利益	4,228	17.6	4,698	19.9	+469	+11.1%
営業利益	1,186	4.9	1,410	6.0	+223	+18.9%
経常利益	1,382	5.7	1,580	6.7	+197	+14.3%
当期純利益	741	3.1	1,080	4.6	+338	+45.7%

ROE	3.7%	5.0%	+1.3%
ROIC	3.0%	3.5%	+0.5%

● 火器は20式小銃の納入数は増加するものの、前年度に計上した防衛生産基盤強化法に基づく特定取組契約の売上がなくなることで収益は減少見込

● 工作機械関連の構造改革を着実に推進することに加え、各事業の収益力の向上により増益を目指す

# 2027年3月期 セグメント別損益予想



(百万円)

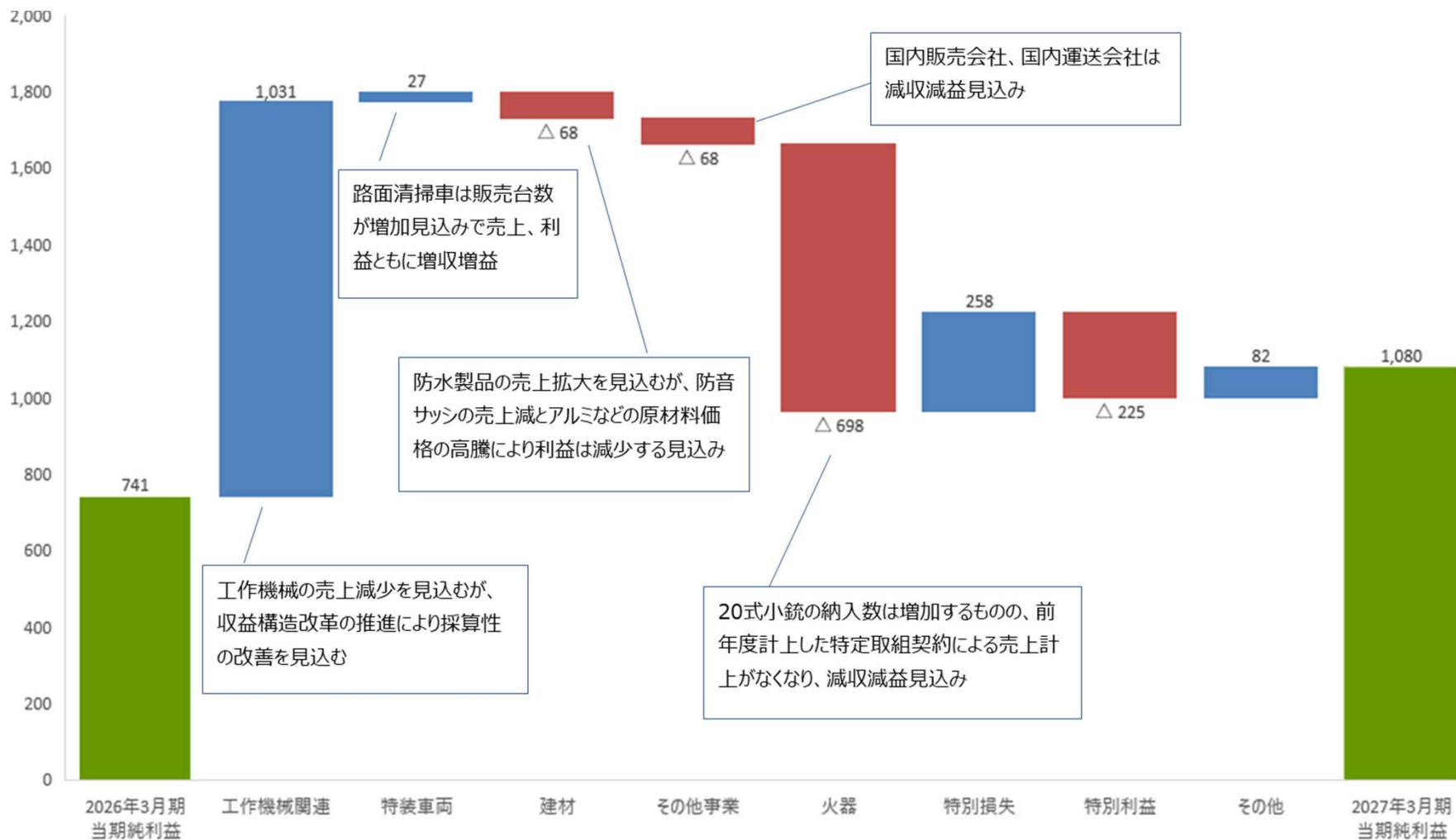
	2026年3月期		2027年3月期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	増減率	営業利益	増減率
火 器	8,965	1,255	8,733	557	△232	△2.6%	△698	△55.6%
特 装 車 両	2,922	37	3,142	65	+219	+7.5%	+27	+75.7%
建 材	3,232	276	3,238	208	+5	+0.2%	△68	△24.6%
工作機械関連	5,421	△1,017	5,107	14	△314	△5.8%	+1,031	(黒字化)
不 動 産	508	411	508	411	±0	±0.0%	±0	±0.0%
そ の 他	3,014	223	2,832	155	△182	△6.0%	△68	△30.5%
合 計	24,064	1,186	23,560	1,410	△504	△2.1%	+223	+18.9%

火 器	20式小銃の納入数は増加するものの、前年度計上した特定取組契約による売上計上がなくなり、減収減益見込み
特 装 車 両	路面清掃車は販売台数が増加見込みで売上、利益ともに増収増益
建 材	防水製品の売上拡大を見込むが、防音サッシの売上減とアルミなどの原材料価格の高騰により利益は減少する見込み
工作機械関連	工作機械の売上減少を見込むが、収益構造改革の推進により採算性の改善を見込む
そ の 他	国内販売会社、国内運送会社は減収減益見込み

# 2027年3月期 利益変動要因



(百万円)



## 厳しい事業環境の継続

自動車業界におけるパワートレイン戦略が不透明で設備投資が低迷する中、  
工作機械メーカーは厳しいコスト競争により苦戦

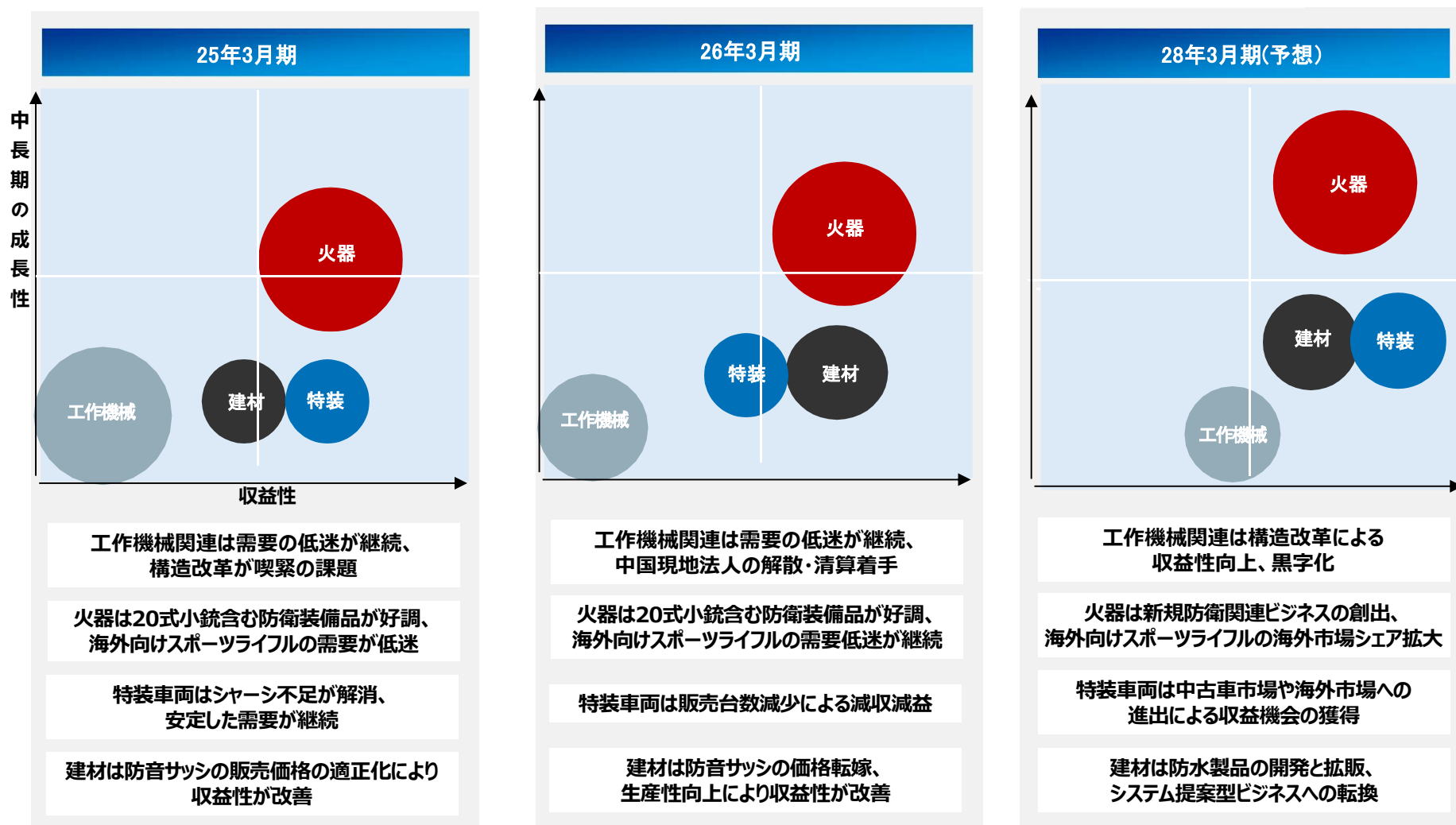
中国ローカルメーカーの台頭による、日本の工作機械メーカーへの逆風

## 中国における販売戦略の見直し、 現地法人の解散・清算に着手

中国現地法人の清算関連費用を特別損失として費用計上

## 採算重視の販売戦略、機種統合、生産性向上を徹底し、 工作機械関連の黒字化を目指す

# ポートフォリオマネジメント



工作機械関連は需要の低迷が継続、構造改革が喫緊の課題

火器は20式小銃含む防衛装備品が好調、海外向けスポーツライフルの需要が低迷

特装車両はシャーシ不足が解消、安定した需要が継続

建材は防音サッシの販売価格の適正化により収益性が改善

工作機械関連は需要の低迷が継続、中国現地法人の解散・清算着手

火器は20式小銃含む防衛装備品が好調、海外向けスポーツライフルの需要低迷が継続

特装車両は販売台数減少による減収減益

建材は防音サッシの価格転嫁、生産性向上により収益性が改善

工作機械関連は構造改革による収益性向上、黒字化

火器は新規防衛関連ビジネスの創出、海外向けスポーツライフルの海外市場シェア拡大

特装車両は中古車市場や海外市場への進出による収益機会の獲得

建材は防水製品の開発と拡販、システム提案型ビジネスへの転換

**工作機械関連事業の構造改革を進め、火器を中核とし、特装車両・建材の収益力向上を図ることで中期経営計画達成を目指す**

# Ⅲ 中期経営計画への取組み状況

## (2026年3月期～2028年3月期)

---

# アクションプラン 火器事業



## 防衛装備品



20式5.56mm小銃及び付属品

## 海外輸出 (スポーツライフル)



Model 1500 フェンスラインシリーズ

中期経営計画 KPI	1年目 (昨年度) (26/3月期)	2年目 (今年度) (27/3月期)	3年目 (28/3月期)
	実績値	予想値	目標値
売上高 (百万円)	8,965	8,733	8,200
営業利益 (百万円)	1,255	557	700
営業利益率	14.0%	6.4%	8.5%

## 昨年度の主な取組み

### ■ 国内 (防衛装備品)

- ・20式小銃の売上大幅伸長: 初年度3,000丁 → 昨年度12,000丁 (4倍増)
- ・20式小銃の納入後フォローアップ→改善改良による製品力向上、バリエーション提案
- ・次世代消火器の要素研究開始

### ■ 海外 (スポーツライフル)

- ・市場シェア拡大戦略: 小口径市場向けコンパクトモデル「22 ARC」発売 (2025年1月)  
耐蝕性セラコート採用の「フェンスラインシリーズ」発売 (2026年1月)
- ・新規市場開拓: 欧州各国に拠点のある有カディストリビュータと新たに提携、ドイツで大型展示会に出展、プロモーション活動を開始

## 2年目以降の主な取組み

### ■ 国内 (防衛装備品)

- ・20式小銃の販売目標: 今年度13,000丁 (航空自衛隊、海上自衛隊向け増加)
- ・20式小銃付属品展開強化: 薬きょう受け増産体制構築、減音器など新付属品の提案強化
- ・次世代小火器の研究開発、省人化・無人化の提案

### ■ 海外 (スポーツライフル)

- ・市場シェア拡大戦略を継続し、高精度で付加価値の高い上位カテゴリーの新モデルを今年度に発売
- ・欧州各国への販売網拡大による売上増加。高精度・高付加価値上位モデルで顧客層開拓
- ・SNS活用による認知度向上、ブランド力向上を継続

# アクションプラン 特装車両事業



## 清掃車両シリーズ



中期経営計画 KPI	1年目（昨年度） （26/3月期）	2年目（今年度） （27/3月期）	3年目 （28/3月期）
	実績値	予想値	目標値
売上高 （百万円）	2,922	3,142	3,500
営業利益 （百万円）	37	65	360
営業利益率	1.3%	2.1%	10.3%

## 昨年度の主な取組み

- 収益力向上: 全体業務フロー最適化、組立工程における配膳・直接作業時間短縮の改善活動に取り組むも、利益率は業績予想を下回る
- 製品力強化: 路面清掃車の全機種フルモデルチェンジ設計を完了、運用性・操作性・保全性・デジタル化・デザインの向上で競争優位性を確立
- 海外市場開拓: インドネシアで路面清掃車の型式認証を取得
- 新製品: 公道走行可能な中型EVタウンスイーパー、自律走行型EVロボスイーパーを開発

## 2年目以降の主な取組み

- 収益力向上: 生産性向上、改善活動を継続し、収益力の向上を目指す
- 製品力強化: フルモデルチェンジ車両を今年度より販売開始
- リユースビジネスへの本格参入: マシンサービス社全株式を英和との共同で取得し、新たな収益の柱を確立
- 海外市場開拓: インドネシア現地での組立体制の構築、積極的な営業活動と清掃デモンストレーションを推進  
今年度中の発売開始
- 新製品: 中型EVタウンスイーパー、自律走行型EVロボスイーパーを今年度中に発売  
環境負荷低減、作業効率向上、省人化を実現



中期経営計画 KPI	1年目 (昨年度) (26/3月期)	2年目 (今年度) (27/3月期)	3年目 (28/3月期)
	実績値	予想値	目標値
売上高 (百万円)	3,232	3,238	3,300
営業利益 (百万円)	276	208	210
営業利益率	8.6%	6.4%	6.4%

## 昨年度の主な取組み

- 防音サッシ
  - ・重点地域への営業強化で売上7%増収。生産性向上改善活動により、利益率が大幅に向上
- 防水製品
  - ・インフラ分野（大都市・公共・交通・エネルギー・防災・防衛）への営業展開を強化
  - ・全国ネット販売店の起用で販路を大幅拡大

## 2年目以降の主な取組み

- 防音サッシ
  - ・重点地域への営業強化、及び直接作業・間接作業を問わない生産性向上活動の継続
  - ・住宅の新断熱基準に適法する断熱型防音サッシの開発
- 防水製品
  - ・市場シェア拡大：継続的な販路拡大（全国ネット販売店との連携強化）。今年度売上目標：250百万円
  - ・水没型防水扉の販売開始（2026年6月）。主要ターゲットは大型施設が多い公共インフラ
  - ・新製品開発継続、製品ラインアップの拡充と高付加価値化により防音サッシに次ぐ柱に育成

# アクションプラン 工作機械関連事業



マシニングセンタ



仮積層機



チャック



中期経営計画 KPI	1年目（昨年度） （26/3月期）	2年目（今年度） （27/3月期）	3年目 （28/3月期）
	実績値	予想値	目標値
売上高 （百万円）	5,421	5,107	6,400
営業利益 （百万円）	△1,017	14	360
営業利益率	△18.8%	0.3%	5.6%

## 昨年度の主な取組み

- 工作機械の構造改革
  - ・中国事業を段階的に縮小、製品カテゴリー絞り込み、標準化と機種統合による設計製造効率化に着手
  - ・最適ものづくりフロー構築による生産体制の見直し
- 空油圧機器：競合・コスト優位性のある3機種の新機種の販売開始
- 電子機械：高精度積層技術を活用し、国内市場開拓を開始、半導体関連市場へ営業活動展開し受注獲得

## 2年目以降の主な取組み

- 工作機械の構造改革
  - ・中国現法の清算決定、製品絞り込み、標準化と機種統合による効率化、最適フロー構築による生産体制見直し
  - ・作業改善と標準化により変動に左右されにくいコスト構造を構築し、2026年度の黒字化を目指す
- 空油圧機器
  - ・生産効率向上と安定供給体制構築のための自動化推進
  - ・セットメーカーを中心とした営業活動の強化
- 電子機械
  - ・従来の中国・台湾市場に加え国内市場への営業活動を推進
  - ・新市場開拓として半導体市場への進出を図り、収益力向上を図る

# IV 添付資料

## ① 経営理念・トピックス

---

「ものづくりを通じて、社会に貢献し、  
企業価値の向上を目指します。」

## ■ 期待に応える

より良い商品とサービスを提供し、顧客の期待と信頼に応えます

## ■ 社会からの信頼

コンプライアンスを重視し、社会から信頼される会社であり続けます

## ■ 活力ある企業風土

議論・対話を尽くし、活力ある企業風土を醸成します

当社は長年にわたり、この経営理念を軸に事業活動を展開してまいりました  
社会的責任を果たしながら、持続的な企業価値の向上に努めてまいります

まもる：人々の幸せな社会生活をまもり、  
ものづくりと共に成長し続ける会社



## 技術の発展

技術の発展を支え、  
世界のものづくりを**まもる**



## 社会インフラ

社会インフラ整備の貢献し、  
社会の発展を**まもる**



## 国防

国防に貢献し、  
国の安全と平和を**まもる**



## 安心な生活

災害から人々を防ぎ、  
安心な生活を**まもる**

# サステナビリティの基本方針

当社は「ものづくりを通じて、社会に貢献し、企業価値の向上を目指す」ことを経営理念として掲げ、100年を超える長い歴史の中で蓄積された技術とノウハウを結集し、幅広い分野において革新的な製品を産み出し、日本のものづくりの発展に貢献してまいりました。

これからも、当社の「人々の幸せな社会生活をまもり、ものづくりと共に成長し続ける」というパーパスに基づき、透明性の高い企業統治体制の下で事業活動を展開してまいります。特に環境課題の解決や社会との調和に対しては、より積極的かつ意欲的に取り組んでいく所存です。

当社はステークホルダーの皆様との信頼関係を大切にしています。株主・投資家の皆様、お客様、取引先の皆様、従業員、そして地域社会との対話を通じて、より良い関係構築に努めます。こうした取り組みにより、中長期にわたる持続的な企業価値の向上を実現してまいります。



## ステークホルダーとの 信頼関係構築

透明性の高いコミュニケーションを通じてすべてのステークホルダーとの信頼関係を深めます



## 環境課題への取り組み

カーボンニュートラルをはじめとする環境課題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します



## 革新的なものづくり

100年を超える歴史で培った技術とノウハウを活かし、社会に貢献する製品開発を継続します

# トピックス：火器事業部

Howa

## ■ スポーツライフルの口径拡充を推進

- ・スポーツライフルで新弾種25Creedmoor対応モデルを新発売
- ・2026年1月北米で開催されたSHOT SHOWに出展して、新モデルとしてフェンスラインシリーズを発表
- ・2026年2月ドイツで大型アウトドアショー(IWAショー)に出展



2026年1月SHOT SHOWブース



新モデルのフェンスラインシリーズ  
(新弾種25Creedmoorを含む人気口径を展開)

## ■ 路面清掃車リユースビジネス共同事業展開（株式の取得）

2026年4月1日、路面清掃車総販売代理店：英和株式会社とともに、路面清掃車リユースビジネス事業において、マシンサービス株式会社の全株式を共同で取得することに合意しました。

当該ビジネスに関しましては、路面清掃車の製造を担う弊社と、総販売代理店として販売を担う英和株式会社、弊社製路面清掃車・産業用清掃機のパーツセンターおよび指定工場として、アフターサービス分野における高い技術力と顧客基盤を有するマシンサービスを加えた三位一体の事業運営とすることで、より高いシナジーが見込まれることから、マシンサービスの全株式を取得し共同運営の運びとなりました。

これにより高付加価値の認定中古車等をより幅広い顧客に提供することで、清掃車両事業のさらなる拡大を図ってまいります。

## ■ 「2026NEW環境展」にEVロボスイーパーを出展

2026年5月20日～22日に東京ビッサイで開催された「2026NEW環境展」に出展。

今年度発売予定の自律走行が可能なEVロボスイーパーを展示し、多くの来場者から注目を浴びた。



# トピックス：建材事業部

## ■ 水位5mの水没時でも最上級等級の浸水性能を誇る 防水扉の公的試験合格

- 目的：防水製品【“ミズガード”シリーズ】の  
バリエーション追加により売上増加を図る
- 仕様：水位5mにおける最上級等級浸水性能
- 日程： 2025年11月 社内試験合格  
2026年 3月 公的試験合格  
2026年 6月 販売開始予定



- ・ **大口径中空パワーチャック H3KBA（2026年5月発売）**

2025年7月のH3KTA発売とともに受注を停止したH3KBを、大幅な性能向上とお求めやすい価格を実現し、H3KBAとして再リリース。  
生産工法の抜本的見直しによりコストダウンを図る一方、摺動面仕上げの向上により50万サイクルの高負荷耐久試験においても安定した把握力を実現し、長期にわたる高効率生産に対応。  
また、中空貫通穴径を拡大し、バー材加工能力を向上。



- ・ **クイックチェンジパワーチャック H3SJ（2026年秋発売予定）**

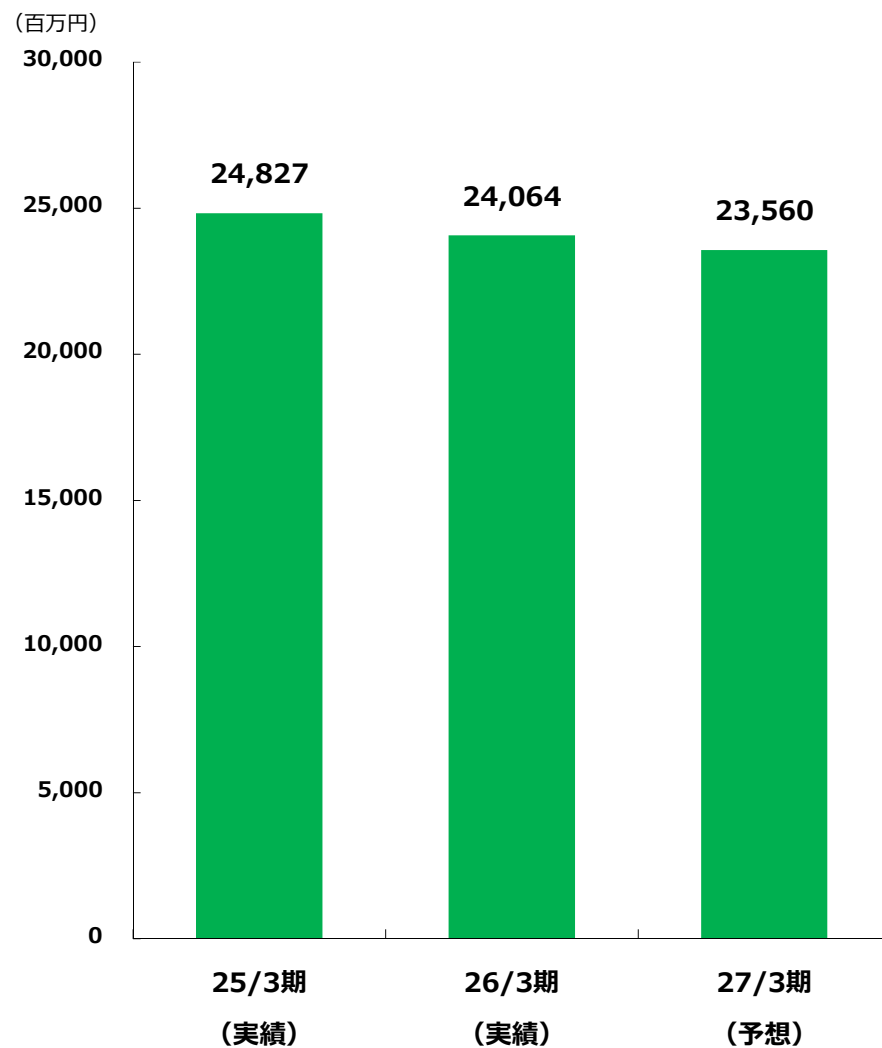
2025年10月開催のMECT2025に参考出品し好評をいただきましたクイックチェンジパワーチャック「H3SJ8」に、10インチと12インチを加え、3サイズで正式発売予定。  
工具レスで作業者が容易に爪交換が可能であり、ロボットなどによる自動爪交換対応可能。多品種少量生産を支援する高生産性パワーチャック。



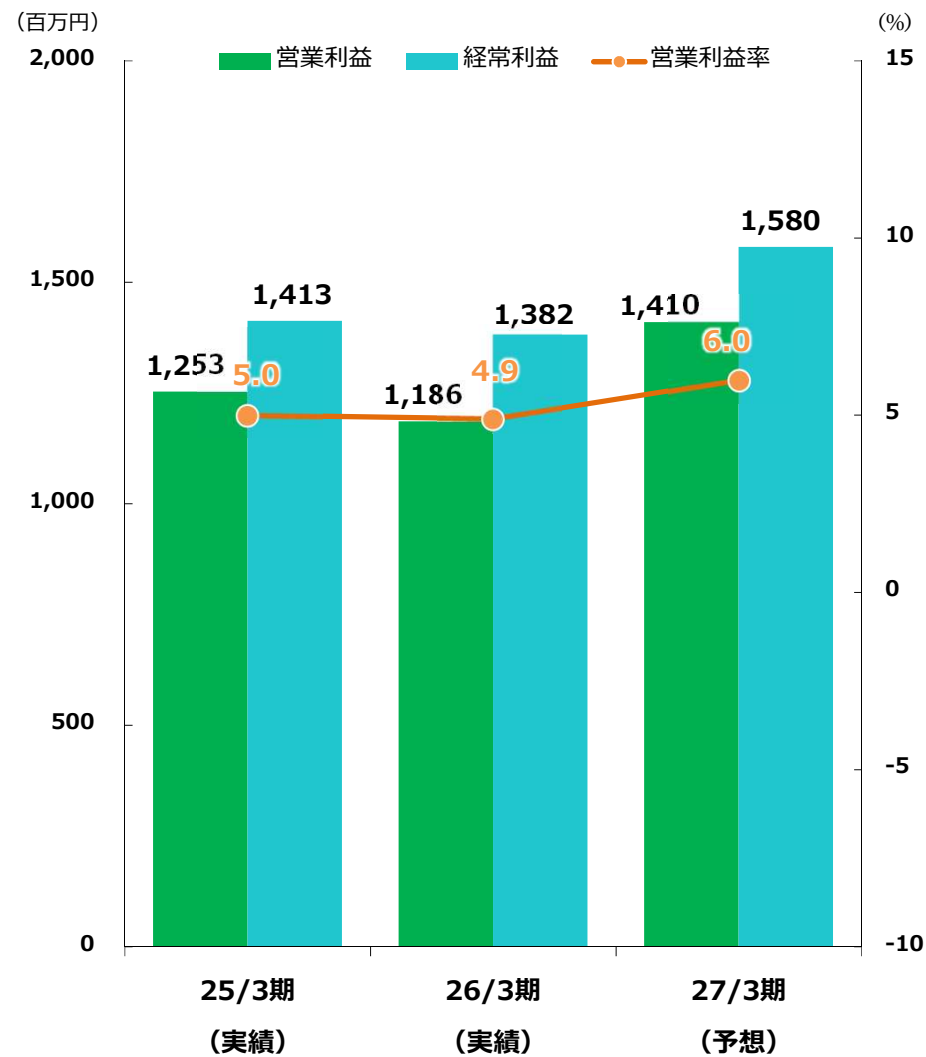
# IV 添付資料 財務データ

---

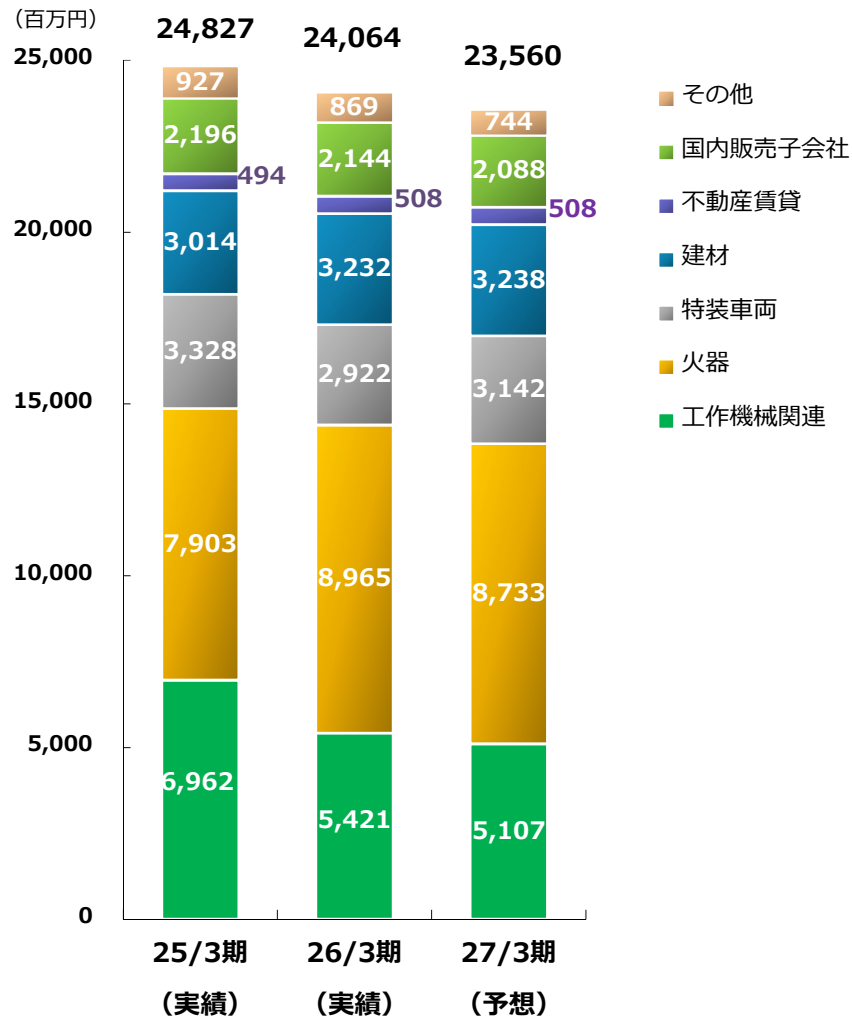
## 売上高



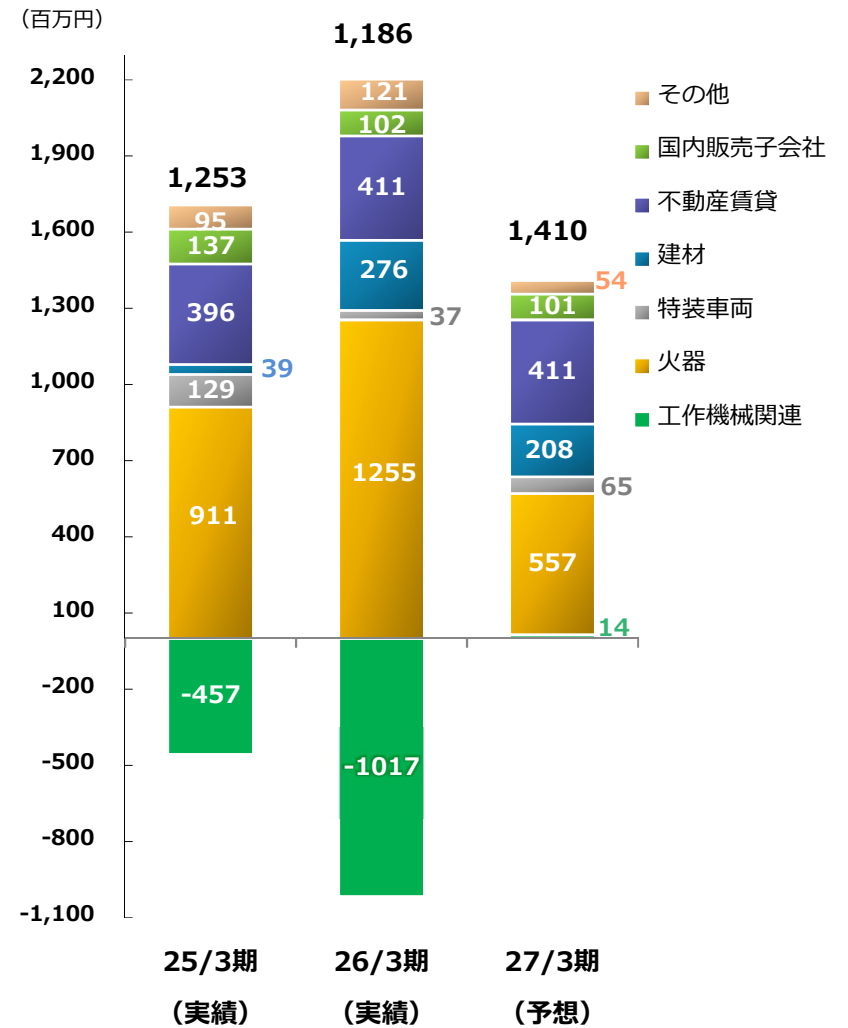
## 営業利益・経常利益



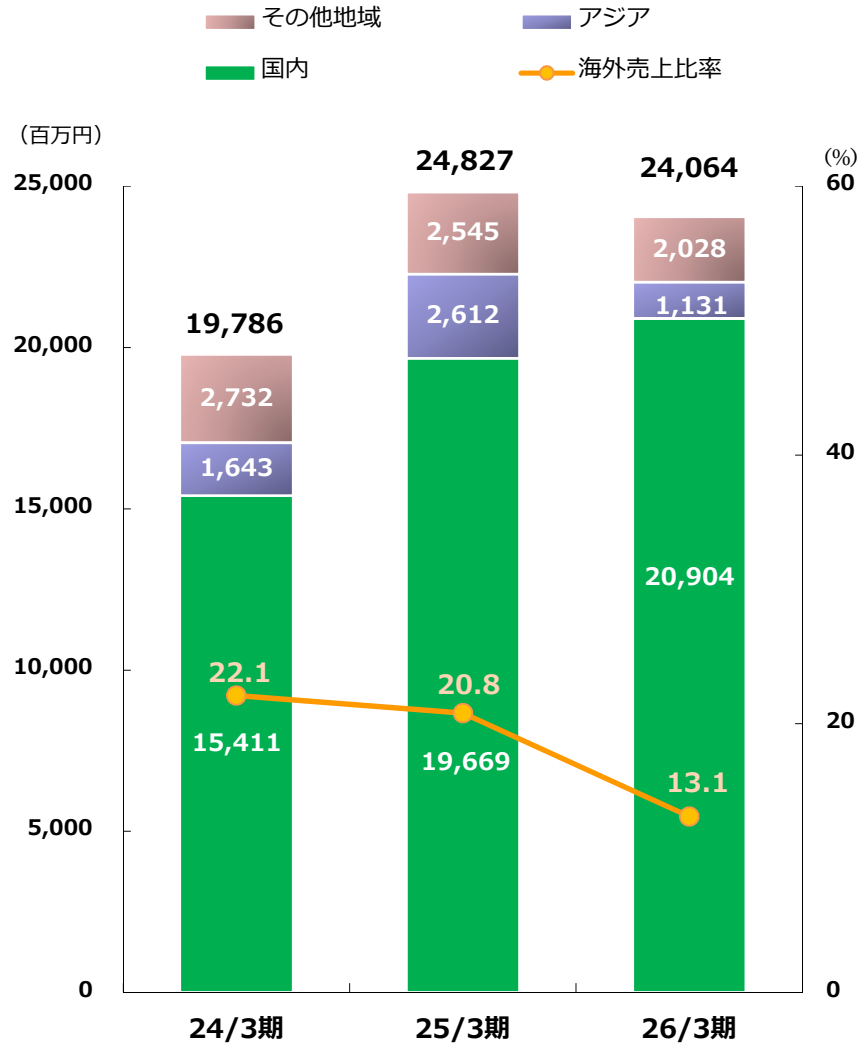
## 事業別売上高



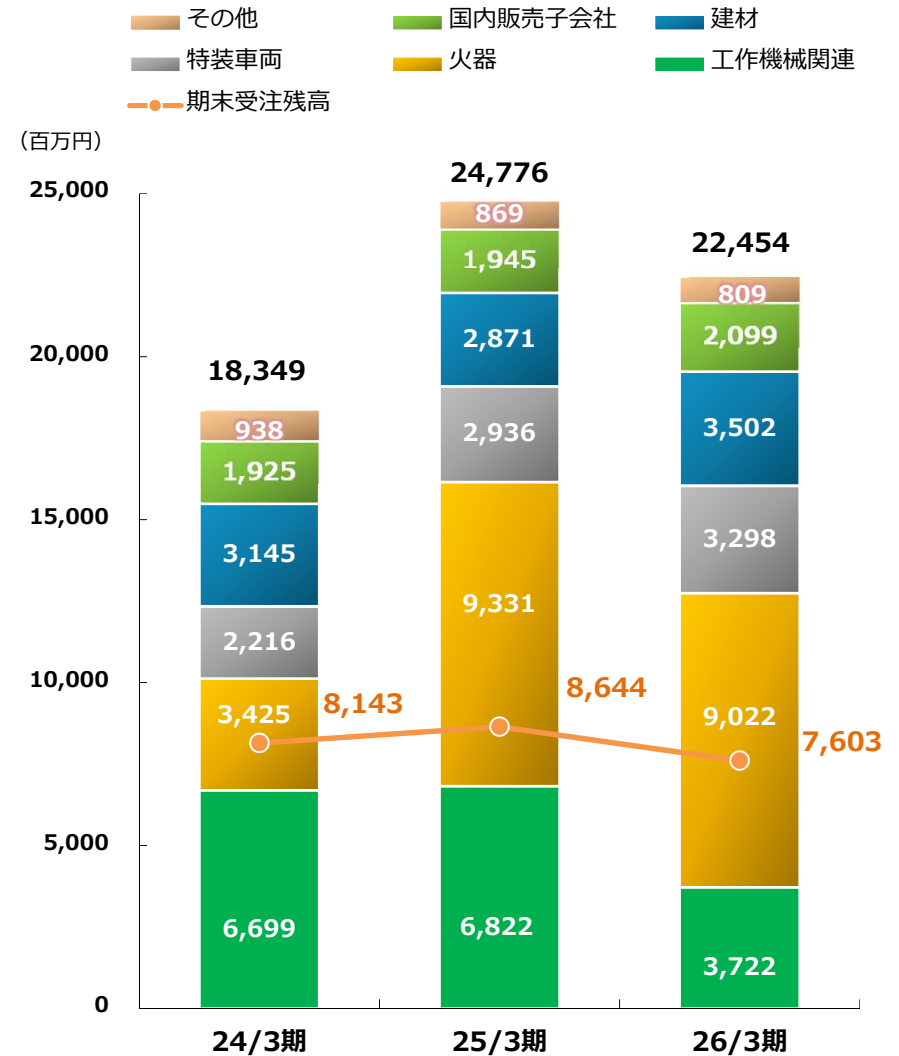
## 事業別営業利益



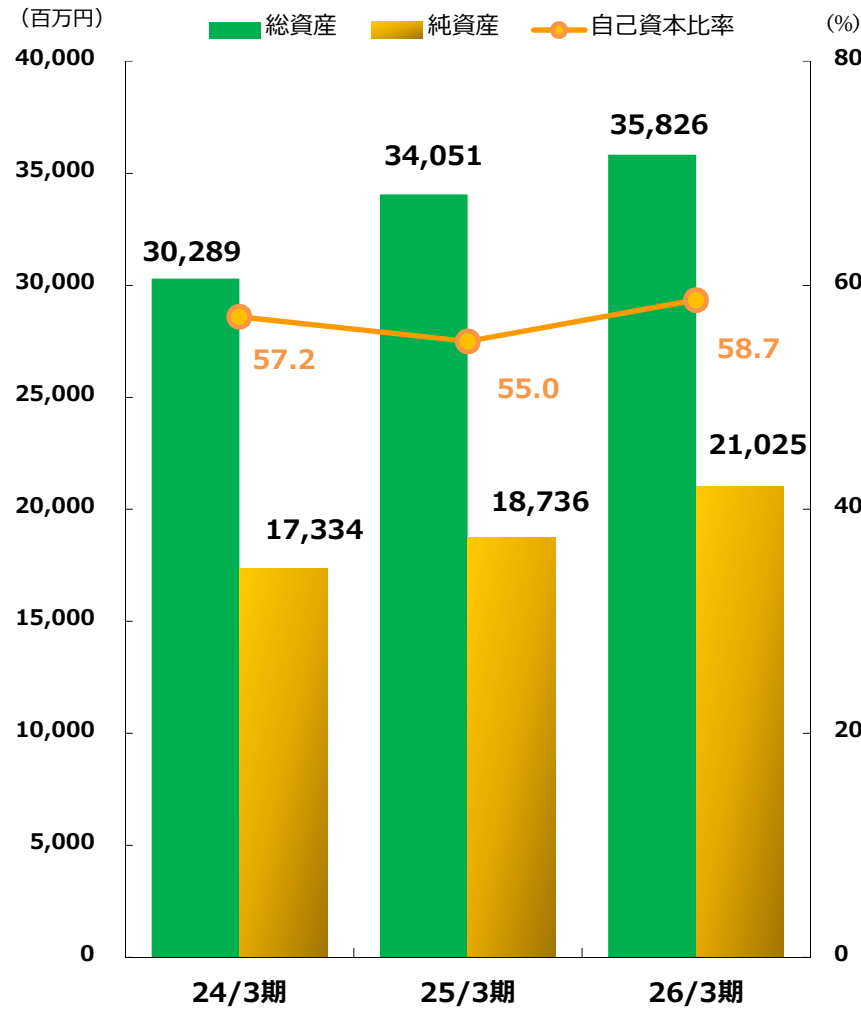
## 地域別売上高



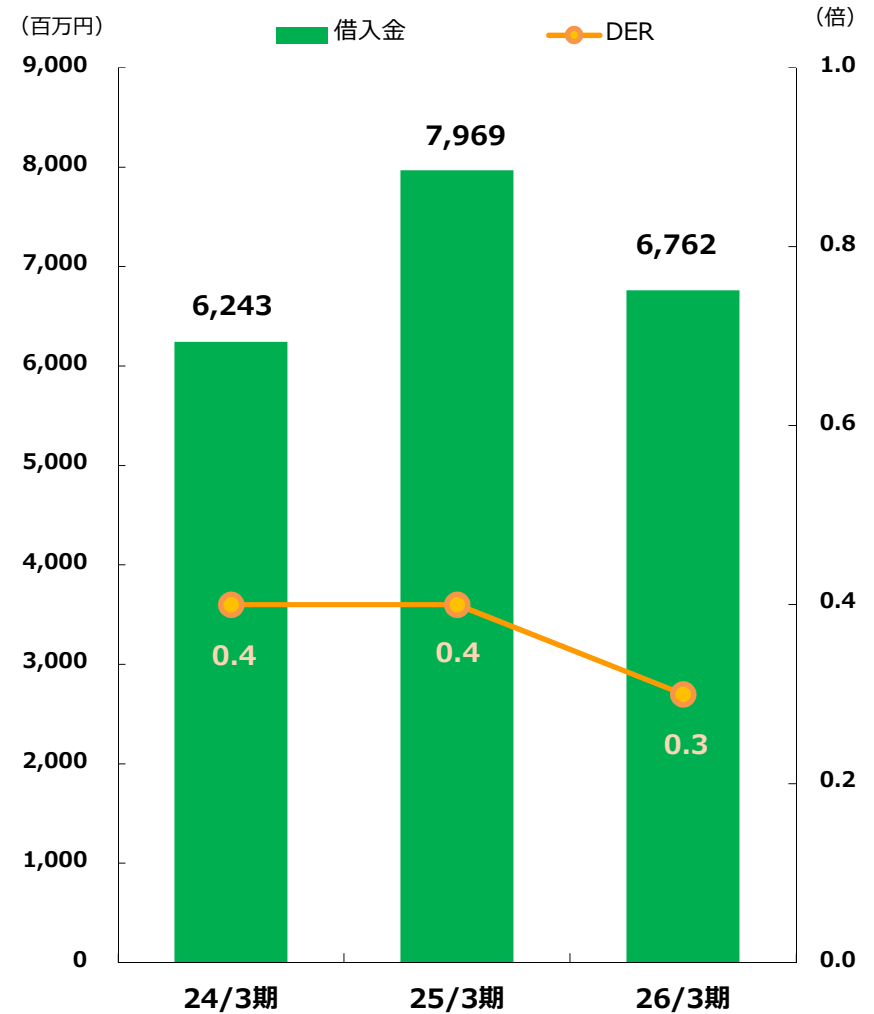
## 受注高・受注残高



### 総資産・純資産・自己資本比率



### 有利子負債残高



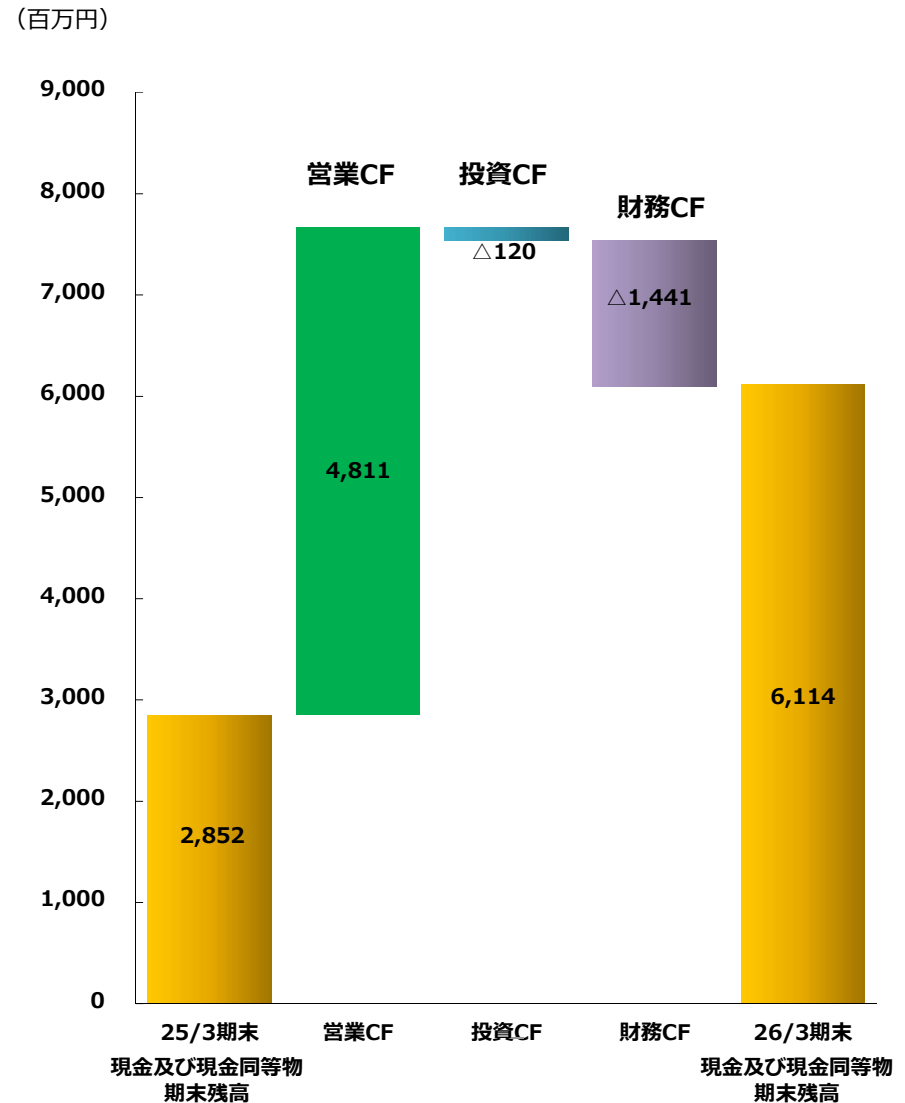
※DER (デット・エクイティ・レシオ) = 有利子負債残高 / 株主資本  
有利子負債はリース債務を含む

## 貸借対照表

	2025年3月期		2026年3月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	21,604	63.4	21,269	59.4	△335	現金及び預金の増加 +3,271 売掛金の減少 △1,507
（現金・預金）	2,917	8.6	6,188	17.3	+3,271	
（売上債権）	11,633	34.2	8,545	23.9	△3,088	
固定資産	12,447	36.6	14,557	40.6	+2,110	
（有形固定資産）	5,017	14.7	4,812	13.4	△205	
資産合計	34,051	100.0	35,826	100.0	+1,775	
流動負債	8,416	24.7	7,478	20.9	△937	電子記録債務の減少 △377 短期借入金 of 減少 △838 繰延税金負債の増加 +847
（仕入債務）	3,043	8.9	2,290	6.4	△753	
固定負債	6,898	20.3	7,322	20.4	+424	
負債合計	15,314	45.0	14,801	41.3	△513	
（有利子負債残高）	7,969	23.4	6,762	18.9	△1,206	
純資産合計	18,736	55.0	21,025	58.7	+2,288	その他有価証券評価差額金の増加 +1,591 利益剰余金の増加 +496
1株当たり純資産（円）	1,553.55	-	1,741.75	-	+188.20	

## キャッシュ・フローの状況

	2026年3月期
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	<b>4,811</b>
税金等調整前当期純利益	1,338
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	3,094
仕入債務の増減額 (△は増加)	△782
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	<b>△120</b>
有形固定資産の取得による支出	△286
投資有価証券の取得による支出	△89
投資有価証券の売却及び償還による収入	314
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	<b>△1,441</b>
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△850
長期借入れによる収入	799
長期借入金の返済による支出	△1,142
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>3,262</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>6,114</b>



※その他、現金及び現金同等物に係る換算差額 12

# 本資料における注意事項

本資料には豊和工業株式会社（以下、当社）の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。

これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。そのため、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

